

マスコミ各位

令和4年10月6日（木）

沖縄県保健医療部ワクチン・検査推進課 感染症予防班

担当：加藤、嘉数

電話：098-866-2013

沖縄県内におけるデング熱患者の発生について

（蚊に刺されないよう、蚊を発生させないように注意しましょう）

1 概要

令和4年10月3日、南部保健所からデング熱患者の発生報告がありましたのでお知らせします。なお、令和4年9月20日に那覇市保健所から県内では3年ぶりとなる1例の報告があり、今回はこれに次ぐ今年2例目の報告です。

2 患者情報

那覇市在住の60代、男性。

令和4年9月27日に倦怠感、下痢、発熱の症状が出現。9月30日に南部保健所管内の医療機関を受診し、デング熱と診断され入院しました。現在は回復し退院しています。

当該患者は、発症前にネパールへの渡航歴あり。その際蚊に全身を複数刺されていることから、渡航先での感染が疑われます。

3 デング熱について

病原体：デングウイルス

デング熱は感染症法では4類感染症に分類され、国内ではほとんどが輸入感染例です。

感染経路：病原体を保有する蚊に刺されることで感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。デングウイルスに感染したヒトを蚊が吸血することでウイルスを保有することがあります。

潜伏期間：2～14日（通常3～7日）

症状：

- （1）感染しても発症するのは20～50%程度で、約半数は無症状におわります。
- （2）38～40℃の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹などの症状が現れます。
- （3）通常は1週間程度で回復しますが、まれに出血傾向を伴う重症化例（デング出血熱）へ移行することがあります。

治療：対症療法のみとなります

予防：国内で利用可能なワクチンはありません

4 デング熱の患者発生状況

表：県内および全国の患者報告数（2010年以降）

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
県	2	5	1	1	2	0	4	2	0	10	0	0	2	29
全国	244	113	221	249	341	293	342	245	201	461	45	8	52	2815

※ 全国の2021年は暫定値、2022年は第38週（9月19日～9月25日）時点

5 県民の皆さまへ

(1) 蚊に刺されないように気を付けましょう

- ・長袖、長ズボンの着用
- ・露出している皮膚へ虫除けスプレーを使用
- ・蚊が屋内に侵入しないよう網戸を使用

(2) 蚊を発生させないようにしましょう

蚊の防除の基本は、幼虫（ボウフラ）の発生源対策です。蚊が発生する水たまりをなくす環境づくりを心がけましょう。

- ・屋外に放置された容器や空き缶などを片づける
- ・水がたまる場所をなくす、または週に1回は清掃や水の交換をおこなう

(3) 特に流行地域への海外渡航の際は、蚊に刺されないよう対策を取りましょう

6 参考

● 沖縄県感染症情報センター「感染症発生動向調査 週報・月報 ～速報～」

<全数把握疾患（1～5類）>に、デング熱の情報を掲載しています。

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html#syugepou>

● 厚生労働省「デング熱について」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000131101.html>

● 国立感染症研究所感染症疫学センター「日本の輸入デング熱症例の動向について」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/dengue-m/dengue-idwrs/6663-dengue-imported.html>

● 厚生労働省検疫所「デング熱」

<https://www.forth.go.jp/topics/fragment4.html>